

平成26年度当初予算概要

本町における財政状況については、平成16年度と平成24年度の決算経常収支で比較すると、歳入では、普通地方交付税は9億7,489万5千円の増、臨時財政対策債は1億7,950万5千円の減となっており、普通地方交付税等の合計では7億9,539万円の増となっています。歳出では、減少した経常一般財源充当経常経費は、退職者不補充を続けてきた人件費が最も大きく6億726万1千円、次に補助費等が2億945万2千円それぞれ減となっているものの、扶助費、公債費、繰出金の大幅な増加によりその効果額は相殺され、現在までの経常一般財源充当経常経費削減額はわずか9,262万2千円にとどまっております。

平成26年度は、みやき町誕生後10年目の節目であるとともに、本町における普通地方交付税の特例措置（合併算定替）最終年度となる会計年度であります。

平成27年度から始まる普通地方交付税の激変緩和措置については適正に準備しなければならないことは十分認識しておりますが、現在のところ不透明な部分が多く、また、住民生活への影響の大きさを考慮し、平成26年度当初予算編成を行ったところであります。

特に、「みやき町定住総合対策事業」に係る「住宅支援」、「子育て支援」や「健康づくり支援」、「女性活動支援・町民協働支援」また、「教育支援」、「防災対策」、「安全安心まちづくり支援」を重点施策と位置づけ、財源の効率的配分を行いました。

この結果、平成26年度の一般会計当初予算総額は112億2,436万7千円となり、平成25年度当初予算と比較すると5億1,532万4千円、4.4%の減となっています。

(単位:千円)

会計区分	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	対前年度 増減額	対前年度 増減率
一般会計	11,224,367	11,739,691	△515,324	△4.4%
国民健康保険特別会計	3,974,184	3,791,164	183,020	4.8%
後期高齢者医療特別会計	341,272	329,323	11,949	3.6%
公共下水道事業特別会計	1,412,676	1,066,511	346,165	32.5%
農業集落排水事業 特別会計	106,414	96,067	10,347	10.8%
工業用地取得造成事業 特別会計	22,026	22,348	△322	△1.4%
グリーンパーク推進整備事業 基金特別会計	20,202	90,162	△69,960	△77.6%
住宅用地取得造成事業 特別会計	45,864	25,650	20,214	78.8%

歳出予算の概要

1. 便利で暮らしよいまちの基盤づくり

町民の皆さんが安全安心な生活をするため、道路・水路の計画的な整備を進めるまちづくり水路工事として2億2,183万円、まちづくり道路改良工として5億4,265万4千円、道路維持補修工事として4,180万3千円、水路、農道、排水対策工事としての農業基盤総合整備事業として8,540万円、児童及び交通弱者に対するコミュニティバス運行補助として1,467万5千円、地域バス対策負担金として912万4千円、情報化社会に対応すべき環境整備事業として、庁内基幹系及び情報系の改修更新等に9,316万4千円、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的として、家庭用浄化槽の設置補助金に3,398万円、公共下水道特別会計においては、汚水幹線・管渠布設工事3億6,600万円、水処理設備増設工事4億9,000万円、汚水処理棟建設工事1億円などを計上いたしています。

2. 快適・安全な生活環境づくり

防犯灯や交通安全施設の整備事業として4,682万5千円、中原駅前駐輪場整備工事として3,056万4千円、ため池の崩壊から人命・財産を守る農業基盤促進事業設計委託料として230万円計上しています。

また、住まいの安全安心と地域経済の活性化のため、空き家再生推進事業補助金、空き家解体除去事業、空き家リフォーム促進事業として合計で2,163万2千円を計上しています。また、災害避難所改修も計画的に、平成31年度までに終了するように進めることとし、本年度は、北茂安江口体育館改修工事6,400万円、中原小体育館改修工事1,985万5千円、三根環境改善センター改修工事9,906万6千円、防火水槽設置工事として、7,865万円、防災センター建設用地購入として2億3,224万3千円を計上しています。

3. 魅力いっぱい活力づくり

農業生産基盤である集落内の環境保全活動のための農地・水・環境保全向上対策事業費として2,569万3千円、さらに、定住総合対策の一つとして、PFI事業による町営住宅建設関係費用（三根庁舎南東）として2億2,074万5千円、老朽化した綾部団地の建替の工事関係業務委託料として256万6千円、企業支援型地域雇用創造事業である地域活性化サポート推進事業886万3千円、特別会計であります。住宅用地取得造成事業会計では、東大島団地跡地造成事業として2,134万3千円をお願いしています。

4. 笑顔と安心にあふれる健康・福祉のまちづくり

国の指針に基づくがん・結核検診事業、予防接種事業など 9,085 万 1 千円、消費税増税の負担軽減のため、臨時福祉特例交付金 1 億 750 万円、子育て世帯臨時特例交付金 2,900 万円、配食サービスの充実に 1,350 万円、敬老事業に 2,130 万円、次世代を担う子どもたちを社会全体で応援する児童手当事業として 3 億 9,498 万円、乳幼児及び児童の健康と福祉の増を図るため、子どもの医療費助成事業として 5,520 万円、ひとり親家庭医療費助成として 1,044 万円、民間保育園の特別保育事業等の助成として 4,438 万 2 千円、居宅介護や施設への短期入所など障害福祉サービス費給付事業として 4 億 4,089 万 1 千円、障がい者相談支援事業委託料として 465 万円、中原特別支援学校に通学する児童を対象とした放課後健全育成事業として 1,164 万 2 千円、高齢者の保健・福祉・医療の向上と健康増進のための包括的支援事業として 3,240 万円、要介護状態になる恐れのある高齢者を対象とした介護予防事業として 1,370 万円、不妊治療費助成に 240 万円、地域での子育て支援のための、幼稚園の教育振興費及び奨励費に 4,427 万円、また次世代を担う子どもたちへの有効な活用を図るため、みやき町こども未来基金に 1,084 万 5 千円を積み立てることとしています。新規事業としまして、子育て支援のまち、また、定住総合対策事業の一つとしまして、出生祝金支給事業として 1,062 万円を計上しています。

5. いきいき輝く人づくり

小・中学校に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対する特別支援教育支援員設置事業として 1,041 万 6 千円、中学校 3 校に教諭補助・ICTサポート支援員を配置する学校教育支援事業に 2,216 万円、各小学校に児童クラブを設置し、児童の福祉増進のための放課後児童健全育成事業として 3,502 万 3 千円、安全・安心な地域の子どもの拠点事業として放課後子ども教室推進事業に 151 万 2 千円、子ども祭り・子供の居場所づくり支援事業として 242 万円、JFA ころのプロジェクト事業に 143 万円、いじめ・体罰等防止委託料として 459 万 9 千円計上しています。

6. 町民がすすんで参加する協働のまちづくり

町民の皆さんの交流と融和によるまちづくりを促進するためのまちづくり支援事業として 240 万円、世代間交流活動支援助成事業として 570 万円、名木・景勝保全整備事業補助金として 190 万 5 千円、町民祭及び合併 10 年記念事業として 615 万 6 千円、人権啓発運動として 68 万 9 千円を計上しています。

本町の財政状況は、国・県の経済・雇用対策事業交付金や普通地方交付税等の歳入の伸びに支えられ、財政調整基金等へ積立を行うなど、財政状況は安定しています。しかし、平成 23 年度は 3 年ぶりに普通地方交付税等が減少し、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は平成 23 年度決算で 1.4%増の 83.9%となっています。

平成 27 年度からは、5 年間で普通交付税等の合併支援措置が減額されるため、適正な財政規模を目標に財政の健全化に取り組む必要があると考えています。

このような状況の中、平成 25 年度の予算編成に当っては、町民ニーズ、各々の事業の課題や最適な実施主体のあり方などを的確に分析し、限りある財源を有効に配分するために「選択」と「集中」による事業の重点化・効率化を進め、「最小の経費で最大の効果」を上げることを基本姿勢として予算編成に取り組みました。

特に、「みやき町定住総合対策事業」に係る「住宅支援」、「子育て支援」や「健康づくり支援」、「女性活動支援・町民協働支援」また、「教育支援」、「防災対策」、「安全安心まちづくり支援」を重点施策と位置づけ、財源の効率的配分を行いました。

この結果、平成 26 年度の一般会計当初予算総額は 112 億 2,436 万 7 千円となり、平成 25 年度当初予算と比較すると 5 億 1,532 万 4 千円、4.4%の減となっています。